

曾我小の校訓『 知・情・意・体 』

本校の体育館の入り口のところに石碑があります。これは、創立百周年を記念して建てられたもので「知・情・意・体」という四文字が刻まれています。学習指導要領などには、子供たちの「生きる力」を育むにあたって「知(確かな学力)」「徳(豊かな心)」「体(健やかな体)」のバランスのよい発達を心がけるように示されていますが、本校では、この「徳」の部分さらに2つ(「情・意」)に分けて、校訓としています。



知

友だちから、地域から、世界から学ぼう。そして、みんなに伝えよう

…広く学び、深く考え、表現できる子

情

自分のことも、まわりの人や物も、大切にしよう

…自分のことも、まわりも大切にでき、命や自然を大切にできる子

意

自分をよりよく変えていこう

…主体的に行動し、客観的に自分を見つめられる子

体

じょうぶな体をつくろう

…健全な生活を心がけ、健康で、体を動かすことを楽しめる子

「情」は、特に「他者(相手)を思う気持ち」を養おうという視点。「意」は「自分をよりよくしようという意欲」を養おうという視点です。

新券で注目を浴びた渋沢栄一も、その著書『論語と算盤』の中で、「知(知恵)・情(情愛)・意(意志)の三つがバランスを保って均等に成長したものが、完全な常識であろうと考える」と述べています。

本校の児童にも、「自分もまわりの人も幸せになれるように、バランスよく考えられる人になってほしい」と願っています。

「どろんこ田」活動スタート！

本校の教育活動の大きな柱のひとつである稲作体験学習『どろんこ田プロジェクト』が、今年もいよいよ始まりしました。

＝ 4 月 12 日 (土) ＝

今年も「おやじの会」の方々にご協力いただき「水路切り」をしていただきました。この作業をすると「今年もいよいよ始まるぞ!」という気持ちになります。

昨年の収穫の後、半年間で水路は土で埋もれ、雑草に覆い隠されてしまっていたが、草刈りをしたりスコップで水路の土を掘り上げたりしていただいたおかげで、きれいに水が流れるようになりました。



「この日は都合が悪かったので、数日前に一人で作業をした」という方もおり、「おやじの会」の皆様の温かい想いをより一層強く感じました。

子供たちのために、本当にありがとうございました。

曾我小の子供たちにとって貴重な体験ができる大切な教育活動の場『どろんこ田』。

稲作体験を通して子供たちがここでどんなことを学んで成長していくのか、今年もとても楽しみにしていました。

一緒に作業をさせていただいた時間は、春のさわやかな風が、とても心地よく感じられた時間でした。



＝5月1日（木）＝

4月30日に地域の方が「種もみ」（2kg）を持ってきてくださいました。

「塩水選」「種子消毒」「浸漬」「催芽」などの工程を経てから「播種」を行い、「出芽」させます。「催芽」では水温を30～32℃に保ち、ポンプで酸素を補給しながら、芽が1～2mm程度になるまで（水温×日数が100を越えるまで）水に漬けておくのだそうです。こうした細かなことまで学習できるのは、曽我小ならではの事です。

この日は、5年担任が2kgの種もみを教室に持ってきていき、児童一人一人に触らせて、感触を味わわせていました。また、昨年度は同じ2kgの種もみから140kgのお米がとれたことを伝えると、子供たちからは「70倍も？」と驚きの声も上がっていました。



これから半年間、5年生が中心となって4年生と一緒に活動していきます。お米の収穫も楽しみです。が、それよりも、この活動を通して5年生や4年生がどんなふうにかくましく成長していくのか、今からとても楽しみです。

＝5月7日（水）＝

連休明けの晴天のもと、1・2年生がどろんこ田で「どろんこ遊び」をしました。前日の降雨のおかげでちょうどよいくらいの水が溜まり、子供たちはひざ下くらいまで埋もれながら、やわらかい泥の感触を感じていました。泥水を跳ね飛ばしながらアメンボやトンボを追いかける子もいて、歓声（悲鳴？）を



上げながら走り回る姿は、とてもかわいらしかったです。このような体験は、子供の一生の記憶に残るとても貴重な経験だと思います。こうした環境を整えてくださっている地域の方々に感謝しつつ、この活動はこれからも大切に引き継いでいきたいと思います。

＝5月7日（水）＝

理科室で4・5年生が「種まき・苗床づくり」をしました。5年担任から説明を受けた後、4・5年生混合の6つの班に分かれて、2床ずつ種まきをしました。昨年も経験している5年生は、今年は教えて



てあげる立場になって、興味津々の4年生と協力しながら楽しそうに活動していました。

本校は児童数が少ないので、関わり合う友達

の数にも限りがあります。このような様々な活動を異学年と合同で行うことで「関わり合い方」「コミュニケーション」などを学べるような機会を積極的に作っています。

今年の発芽は、どんな感じになるのかな？ 楽しみです。



たまねぎの収穫

5月9日（金）に、たまねぎの収穫をしました。

これは毎年「JAかながわ西湘・青壮年部」と「NPO法人 小田原食とみどり」の皆様にご指導・ご協力をいただきながら行っている活動です。



1・6年生、2・5年生、3・4年生の3グループに分かれて、時間帯をずらしながら畑に行きました。昨年12月に植えた時の苗の大きさを覚えていた子もいて、

約5ヶ月間でどれだけ大きくなったかを実感している様子でした。また、高学年の児童が低学年の児童に、はさみで切る位置を教えてあげるなど、微笑ましい「異学年交流」の場面も見られて、とてもうれしく思いました。

とても貴重な活動の場を提供してくださった「JAかながわ西湘・青壮年部」と「NPO法人 小田原食とみどり」の皆様、本当にありがとうございました。

